

当院での動画ネットワークシステム Goodnet の構築と運用

【目的】今まで心カテの動画は PACS で管理していた。PACS では CAG、PCI など一部の動画のみが閲覧可能で、IVUS の画像は CD で保存されており、管理や過去検査の閲覧などが煩雑であった。また、台帳の管理も電子カルテと台帳専用の端末の 2 箇所で行っていたため手間がかかっていた。そこで今回、心カテの動画や台帳の管理が統合可能な動画サーバを導入したため、当院での運用を報告する。【方法・結果】当院では 2015 年 3 月に Goodman 社の Goodnet を導入した。ストレージは RAID6 で構成し、容量は 5TB、サーバは Web 配信用に 1 台設置している。容量が限度に達すると古いデータ、アクセスが一定期間なかったデータから削除されていく。専用端末は心カテの説明室、循環器外来、病棟に計 3 端末を設置している。動画や台帳は電子カルテ端末と Web 連携されている。動画の連携モダリティは、血管撮影装置と IVUS であり、血管撮影装置は通常では検像を介して Goodnet と繋がっている。検査終了後、検像で不必要な動画を削除し、送信している。動画の送信は PACS と Goodnet の双方に行っているため、古い動画が Goodnet で削除されても PACS より取得することで閲覧可能である。IVUS の画像は検査終了後に直接 Goodnet に転送される。台帳の管理は、Goodnet にて必要事項を入力し、記録・保存を行っており、電子カルテへ配信できる。セキュリティ対策としては、ユーザーグループごとに実行できる操作を制限している。【結論】Goodnet の導入により、画像、動画の管理を統合でき、台帳の記録や管理も簡便化され、業務の効率化に繋がった。